

仕様書

- 1 総 則 この仕様書は市川市消防局（以下「当局」という。）において購入する消防団用防寒衣（以下「防寒衣」という。）について必要事項を定める。
- 2 件 名 消防団用防寒衣の購入
- 3 品名及び数量 防寒衣 60着
- 4 納入期限 令和 6年 2月 29日（木）
- 5 納入場所 市川市消防局 警防課
- 6 担当課 市川市消防局 警防課
- 7 形 式
立ち衿型、雨除け付き面ファスナー4点止め前立て、前後ヨークから袖にかけてと背中中央部に反射^ハ化^ソグ入り切り替え、左右ポケット2個、胸ポケット1個、手口は面ファスナーで調整出来る仕様とする。
- 8 参考製品
ミズノ MW001 ネイビー
- 9 色
色についてはネイビーとする。
- 10 縫製要領
 - (1) 各部の縫い合わせは、優良で、縫い代は十分であること。
 - (2) 縫い目のめとびは、縫い外れの無いこと。
 - (3) 糸調子は良好で、縫い目曲がり、縫い縮みがないようにし、折り返し針は完全にすること。
 - (4) 針数は、地縫い3cm間11針以上、飾りステッチは3cm間11～13針、オーバーロックは3cm間8針以上とする。
 - (5) 各部の縫い目はあたりなく始末する。

- (6) 裁断の型入れは、布目を通し1着1方向とし、反取りを原則とする。
- (7) 衿先左右、腰ポケットの左右バランスが取れていること。

1.1 縫製仕様

(1) 衿

- ア 外衿に芯地、内衿に中綿と NS778AC 表地を入れること。
- イ 衿幅は後中心で 10cm±5mm (サイズピッチ有) とする。
- ウ 飾りステッチは 6~7mm とする。
- エ 衿内側に衿吊り用のループを挟み込む。

(2) 身頃

- ア 前後ヨークから袖にかけて切り替える。切り替えには再帰反射パイルングを入れる。
- イ 後身の中央を切り替えてヨーク仕立てとし、再帰反射パイルングを入れる
- ウ 右胸ポケットの上部にはマイク用のループを付ける。

(3) 前立て

- ア 2重の前立て仕様で下前立てには雨除けの折り返しを施す。
- イ 前立て下には表から使用できる内ポケットを付ける。
- ウ 前あわせは面ファスナーで4点止め仕様とする。
- エ 前ファスナーの付け始めと付け終わりはか止めを施す。

(4) 胸ポケット

- ア 胸ポケット、腰ポケットはファスナー付きでスライダーにはハットループを付ける。
- イ 胸ポケットの袋地端は吊り布でアームホールに固定する。

(5) 手口

手口は面ファスナーで調整出来る仕様にする

(6) 脇から袖下

本縫いし、更にオーバーロックミシン又はインターロックミシン掛けとする。

(7) チンガード

- ア 肌に当たる側はメッシュを使用する。
- イ 顎部ファスナー噛み防止の為、前立て下の上部を折り返しステッチとか止めを施す。

(8) 中綿

- ア 部位により中綿グラム数を変える。(後身上部 100g、前身と後身下部 80g、袖その他 60g)。
- イ 後身上部にはブレスサーモ (発熱素材) を混綿し保温性に優れたものとする。

(9) 内ポケット

- ア 大型の内ポケットの上に小型のスマートフォン入れ用の箱ポケット (6.5inch 対応) を乗せる。

イ 面ファスナー付きの雨蓋仕様とする。

(10) ペンポケット

左袖上腕部に2本入りペンポケット(6cm×14cm)を縫い付ける。

12 名入れ

左胸、背中上位にプリントを施す。

なお、プリント、字体、大きさ、位置等は担当課と調整の上決定する。

13 その他

(1) この防寒衣は市川市消防団員が着用するもので消防活動に適用するものであること。

(2) この防寒衣に使用する主材料は活動に十分耐えられ、かつ、機能性のある優良な製品であること。

(3) 納入する防寒衣については、傷・ムラ・斑点・汚れ・その他外観を損ねるものであってはならない。

(4) 納品に際しては、市契約課担当職員及び当局担当職員の検収を受けるものとする。

(5) 契約業者は、当局が要望するサイズ及び数量を納品すること。

(特注はありません。)